

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 29 年度

市町村名	三芳町			
提案事業名	日本農業遺産認定を契機とした地域振興事業			
事業期間	29 年度	～	29 年度	
事業の必要性、目的	三芳町と所沢市・川越市・ふじみ野市の3市1町で「武蔵野の落ち葉堆肥農法世界遺産推進協議会」を設け、認定に向けて取り組んだ結果、平成29年3月に当該農法・地域が日本農業遺産に認定された。これを踏まえ、推進協議会では、記念式典の実施やロゴ、のぼり旗等作成など、日本農業遺産の認定を踏まえた取り組みを進めている。 落ち葉堆肥農法の実践農家が最も多く、認定地域の中心に位置する三芳町は、日本農業遺産認定を活用した地域振興に向けた取り組みを実施していく。			
成果指標	(成果を検証する指標) 認定エリアに訪れる観光来客者の数			
	(成果検証の具体的な方法) 拠点施設やイベントの来訪者数			
	(上記の指標を設定した理由)			
	(成果の目標値)			
	現状値 (29年3月現在)	8,977人	目標値 (31年3月時点)	10,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)	400人	稼働率(目標)(%)	18%
住民への公表方法及び特記事項	広報等			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成29年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 上富拠点施設整備事業	ハード 町の観光・農業の中心である上富地域の拠点施設内の整備を行う。	5,410
② 日本遺産認定を活用した情報発信と次世代育成事業	ソフト 日本農業遺産の認定を契機として、落ち葉堆肥農法を実施している上富地域を中心として町内への観光客の誘客へ強化を図る。また、町の特産品であるさつまいもの文化を広く発信する。	3,590
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		9,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	案内看板設置やパンフレットで情報発信等を行い、来客を迎えるための施設のバリアフリー化するなど施設の整備を行うことによりこのエリアを訪れる来訪者を増やす
成果指標の達成見込み	上記取組を通じ、外部にこれまで以上に情報発信等を行うことによって、成果指標も十分に達成可能と考えられる。